

作文

注意

- * 答えは、解答题紙の決められた場所に書きましょう。
- * 問題用紙は二枚あります。

【1枚目】

受検番号

次の文章をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(著作権保護のため削除)

(注) 恩恵 || めぐみ。

(あまんきみこ『空の絵本』による。)

1 ~~~~~ 線部で、「じいさんの天気予報」とありますが、おじいさんは、いつもどのようにして天気を予測していたのでしょうか。書きましょう。

2 —— 線部で、「あたたかい笑い声」とありますが、ここから、運転手さんのどのような気持ちが感じられるでしょうか。書きましょう。

3 |||| 線部で、「原始的で豊かな」とありますが、それはどのようなことを表しているのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

4 あなたが身近な自然にふと気づき、心を引かれた経験を、百二十字以上、百六十字以内で書きましょう。原こう用紙の使い方に注意して、題や氏名を書かないで、本文だけ書きましょう。

作文

【2枚目】

受検番号

次の文章は、東京でテントウムシの越冬（冬ごし）について調べたときのこと書かれています。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

ある冬の寒い日のことです。畑の中に建っている物置小屋のかたづけをしていたところ、①西側のかべのそばに

んであった古木材の下で、数百というテントウムシの集団が越冬しているのをみつけました。テントウムシが集団で越冬することは、話にきいていましたが、その数の多さにおどろいてしまいました。

体温がまわりの温度とおなじ変化をする動物を、変温動物といいます。テントウムシもその仲間です。

このため、冬は寒くて動けなくなるので、土のさけ目や枯木の下などにもぐり、成虫のまま集団で越冬します。

この日も、私が顔を近づけてみましたが、一ぴきも動こうとしませんでした。よくみると、いろいろな羽をみることもできませんでした。どれもナミテントウという、おなじ種類です。ナミテントウは、一般にはテントウムシとよばれ、暖かい季節には一ぴきずつ行動し、おもにアブラムシをエサにしている虫です。

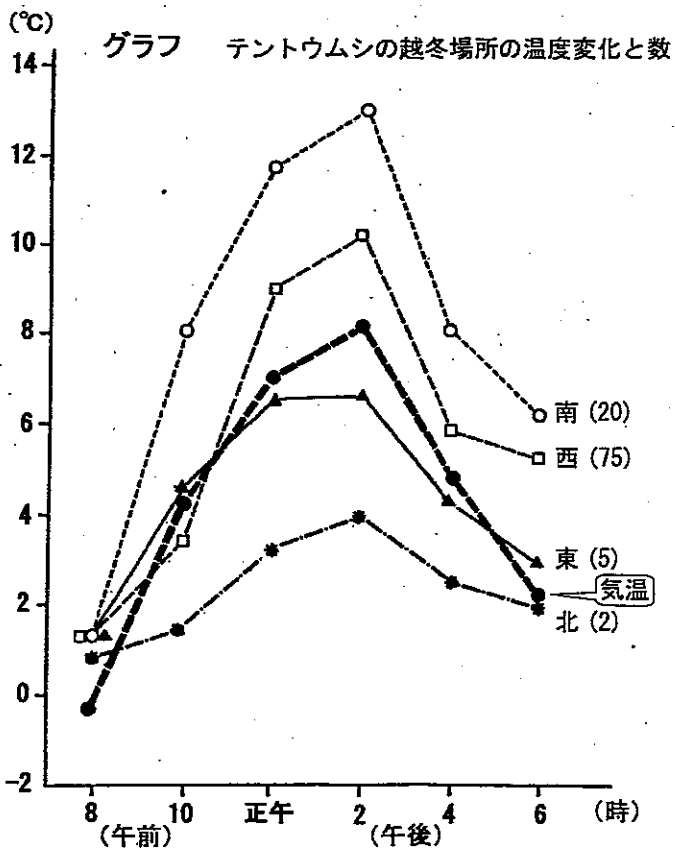
それにしても、寒くなるとどうして一つの場所にたくさん集まるようになるのでしょうか。また、越冬の場所は、方角や温度の関係があるのでしようか、じつにふしぎなことばかりです。

そこで、この物置小屋を利用して、越冬場所と、方角や温度の関係をしらべてみることにしました。

その方法は、秋のはじめに小屋の東、西、南、北の四方角に、古木材をおなじように積んでおき、冬になってテントウムシがどの方角の木材の下にもっともたくさん集まるかをしらべることになりました。また同時に、各方角ごとに古木材の下に棒温度計をさしこんでおき、二時間ごとに温度をはかり、②一日の温度変化をしらべました。

真冬の一月二十八日、いよいよ古木材を静かに持ち上げ、越冬中のテントウムシの数を、方角別に数えました。下のグラフは、そのときのテントウムシの越冬数を方角別に表しています。

その結果、③もつとも越冬数の多かった方角は西側で75ひきでした。ついで、南側が20ひき、東側が5ひき、もつとも少ないのが北側で2ひきという数字でした。



(菅原十一『一本の温度計』による。)

1 線部①で、テントウムシが集団で冬ごしをしているのを見つけて、筆者は、どのような疑問を持ちましたか。書きましょう。

2 線部②で、「一日の温度変化をしらべました。」とありますが、その日は、どのような天気であったと考えられますか。グラフを見て、理由とともに書きましょう。

3 線部③で、「もつとも越冬数の多かった方角は西側で75ひきでした。」とありますが、どうして西側で冬ごしをしているテントウムシが多かったのでしょうか。グラフを見て、考えられる理由を書きましょう。

4 この文章は、テントウムシの冬ごしについて書かれたものですが、冬ごしのしかたがテントウムシとはちがうこん虫もたくさんいます。そのようなこん虫の中で、オオカマキリは、どのように冬ごしをするのでしょうか。~~~~~線部を参考にして説明しましょう。

二

4	3	2	1

一

4				3	2	1

平
二
十
一

作文

解
答
用
紙

受検番号

--

← 120字 →

← 160字 →